



1. (左)

光ファイバーセンサによる坑井内温度分布測定 (1993年12月、葛根田地熱地域6号基地にて)、あいにくの雪の中での測定である。写真ではよく見えないが、光ファイバーは径2.4mmという細いステンレス管に挿入されて前方の坑井内に吊り下げられており、地上部の端は左側のワゴン車内の測定装置に接続している。(阪口圭一)

2. (下)

葛根田地熱発電所生産基地に設置した地震記録装置。実際の微小地震観測を行う前の地震記録装置の点検作業の様子を示している。地震計からの信号は信号ケーブルによって記録計まで伝送されてくる。(杉原光彦)

